

授業科目名	社会福祉 I	担当教員名	北村 育子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の本質・目的の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	3年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 地方公務員として保健と教育に関わる行政に従事した後、社会福祉士養成に携わってきた。同時に、社会福祉法人、NPO法人、家庭裁判所などで子ども・高齢者を含む家族支援を行ってきた。これらの経験を、授業に役立てている。
授業の概要及び全体目標	現代社会における社会福祉の意義や理念を理解し、多様化する福祉ニーズに対して社会福祉制度やサービスがどのように整えられているかを理解する。その上で、子どもや子育て家庭が直面するさまざまな生活問題を社会福祉の課題として捉え、当事者を支援するために社会福祉の相談援助がどのように実践されているか、その方法について学ぶ。あわせて、利用者の権利擁護や苦情解決の仕組みについても理解する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会福祉の意義と社会福祉の歴史の変遷について説明できる 2. 社会福祉における子ども家庭支援の視点について説明できる 3. 社会福祉の制度や実施体系等について説明できる 4. 社会福祉における相談援助について説明できる 5. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて説明できる 6. 社会福祉の動向と課題について説明できる 		
テキスト	公益財団法人児童育成協会 (監修)、松原 康雄・坪 洋一・金子充 (編集)『社会福祉 第2版 (新・基本保育シリーズ 4)』中央法規出版、2022年。		
参考書・参考資料等	必要に応じて、授業のなかで紹介します。		
成績評価の方法	授業への取組姿勢：20% 毎回のコメントシート提出とその内容による理解度・到達度の評価：80%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	授業のすすめ方、取組み方、等について初回に説明します。授業は、教科書にそってすすめます。毎回、授業の理解度と目標の到達度をコメントシートにより確認します。できれば事前に教科書を購入し、第1章にざっと目を通して初回の授業にのぞむようにしてください。学習支援や質問については、授業時間の前後、またメールなどを活用して適宜対応します。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション・社会福祉の理念と歴史の変遷	1	
第2回	子ども家庭支援と社会福祉	2	
第3回	社会福祉の制度と法体系	3	
第4回	社会福祉行政と実施機関、社会福祉施設等	3	
第5回	社会福祉の専門職	3	
第6回	社会保障及び関連制度の概要	3	
第7回	相談援助の理論	4	
第8回	相談援助の意義と機能	4	
第9回	相談援助の対象と過程	4	
第10回	相談援助の方法と技術	4	
第11回	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み	5	
第12回	少子高齢社会における子育て支援	6	
第13回	共生社会の実現と障害者施策	6	
第14回	在宅福祉・地域福祉の推進	6	
第15回	諸外国の動向・科目のまとめ	1, 2, 3, 4, 5, 6	